

1 認知症の各段階に応じた 利用可能なサービスや相談窓口

掲載されているサービス内容の詳細については、最寄の地域包括支援センターにご相談ください。

注：サービス分類は、あくまでも目安です。記載がない時期でも利用できる場合があります。

	初 期	中 期	中 期 以 降			
本人の気持ち	不安・否定	怒り	取り 抑うつ			
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> 物の置き場所を忘れて、探し物が多くなった 料理の味付けが変わった 外出を面倒がる 同じものばかり買ってくる お金の計算ができない 暗証番号を忘れてATM等でお金がおろせない 	<ul style="list-style-type: none"> 食事をしたことを忘れる 服薬や通院を嫌がる 身なりを気にしなくなる 季節に合わない服装をする 外出すると一人で帰宅できない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前が答えられない 日常生活のさまざまな場面で介護が必要 うまく気持ちを表現することができず、感情的になることがある 少しずつ体が思うように動かなくなり、寝ている時間が長くなる 			
家族の気持ち	戸惑い・否定	混乱・疲労	割り切り・理解 受容			
家族の心得・ 対応のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の心の葛藤に寄り添い、にこやかに接しましょう。 依頼する時はシンプルに分かりやすく伝えましょう。 できないことを責めずに、できることをひとつずつ継続して取り組めるようにしましょう。 誰かの見守りがあったり、本人のペースで行えれば、できることはたくさんあります。病気を隠さず、周囲に支援してくれる人を多く見つけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ご本人が事実でな否定したり理論的聴いて、認知症の行動・心理症状がせん。1人で抱えドバイスもらい いことをかたく信じ込んでしまうことがあります。な説得は、逆に混乱させてしまいます。まずは話をかたの世界を理解し対応しましょう。出現し、介護者にとっては一番苦しい時期かもしれこまずに、交流会などに参加して介護経験者からアましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ご本人は自分の思いをうまく伝えることができないかもしれません。ご本人の心地よい生活にすこしでも近づけてみましょう。 介護者の負担が大きくなります。ご家族だけで抱え込まずに、交流会に参加したり、地域のサービス等も利用しましょう。 ご本人とご家族にとって、安心安全な住まいはどこか、専門家にも相談してみましよう。 			
見守りのもと、自分らしい生活を続けていきたい (見守り、病院受診、 服薬管理支援)	地域のサービス <ul style="list-style-type: none"> たすけあいサービス (各団体) 配食サービス (民間事業所) <small>※詳しくは「シニアはつらつガイドブック」をご覧ください。</small>	柏市防災福祉 K-Net (福祉政策課、町会) 緊急通報システム (高齢者支援課)	通院等が難しい ときはご自宅でも	在宅医療 (柏地域医療連携センター) 医療・介護の多職種がチームとなって在宅での療養生活を支えます。	地域のサービス 移動サービス (柏市社会福祉協議会) <small>※車いす利用者限定です。利用には一定の条件があります。</small>	自宅で暮らす 在宅福祉サービス (高齢者支援課) <ul style="list-style-type: none"> 配食サービス費助成 介護用品 (紙おむつ) 給付 寝具乾燥消毒・丸洗い 送迎費助成 訪問理髪費助成 <small>※利用には一定の条件があります。</small>
認知症初期集中 支援チーム (地域包括支援課)	かかりつけをみつけ、 定期受診をしましょう!	かかりつけ医 認知症サポート医 歯科医師 かかりつけ薬局	認知症の確定診断 認知症専門外来 P31	病院 病状は変化します。日々の変化を記録して医師に伝えるようにしましょう。	訪問歯科診療 (歯科介護支援センター) いつまでもおいしくお口から食べられるよう、歯科医師・歯科衛生士が訪問します。	
介護保険サービス等を使って生活リズムや環境、体調を整えたい	介護保険の申請 (高齢者支援課・各地域包括支援センター・沼南支所) <small>※詳しくは「介護保険のかんたん手引き」をご覧ください。</small>	自宅で暮らす ・福祉用具貸与・特定福祉用具 購入費・住宅改修 <small>※介護保険を利用して、生活する環境を整えるサービスです。ケアマネジャーに相談しましょう。</small>	介護保険の利用 — ケアマネジャーに相談しましょう! 自宅で利用：訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護 通いで利用：通所介護 (デイサービス)、通所リハビリ (デイケア) 一時的に入所：ショートステイ、介護老人保健施設 <small>※詳しくは「介護保険のかんたん手引き」をご覧ください。</small>	高齢者住宅・施設で暮らす ☆特別養護老人ホーム サービス付き高齢者住宅 有料老人ホーム等 <small>※施設毎に受入状況が異なりますので、施設にご確認ください。</small> ☆ 認知症対応型グループホーム 共同生活をする住宅で、介護を受けながら食事や入浴などへの支援、機能訓練を受けられます。		
さまざまな福祉サービスを使って備えておきたい	地域生活支援センター (あいネット) 心配ごと相談 (柏市社会福祉協議会) ちば認知症相談コールセンター (認知症の人と家族の会)	わたしの望みノート (柏市社会福祉協議会) <small>※元気なうちから人生への望みを記入しておきましょう。</small>	老いじたくあんしん相談室 (NPO『老いじたくあんしんねっと』) <small>※さまざまな専門家がライフプラン全般の相談にお答えします。</small>	消費者被害 P13 (消費生活センター)	成年後見制度 P21 (かしわ福祉権利擁護センター・地域包括支援センター・地域包括支援課)	
社会参加・仲間づくり・役割をもって生活をしたい	就労・ボランティア セカンドライフ応援窓口 (バレット柏) 柏市社会福祉協議会ボランティアセンター	通いの場・サロン (柏市社会福祉協議会) <small>※詳しくは「シニアはつらつガイド」をご覧ください。</small>	傾聴ボランティア かしわオレンジフレンド 認知症サポーター養成講座を受けたかたで地域で認知症のかたやそのご家族の支援をしているかたです。	若年性認知症 家族会 P22、認知症家族会 P24	認知症介護者交流会 P23	
			認知症カフェ P23			